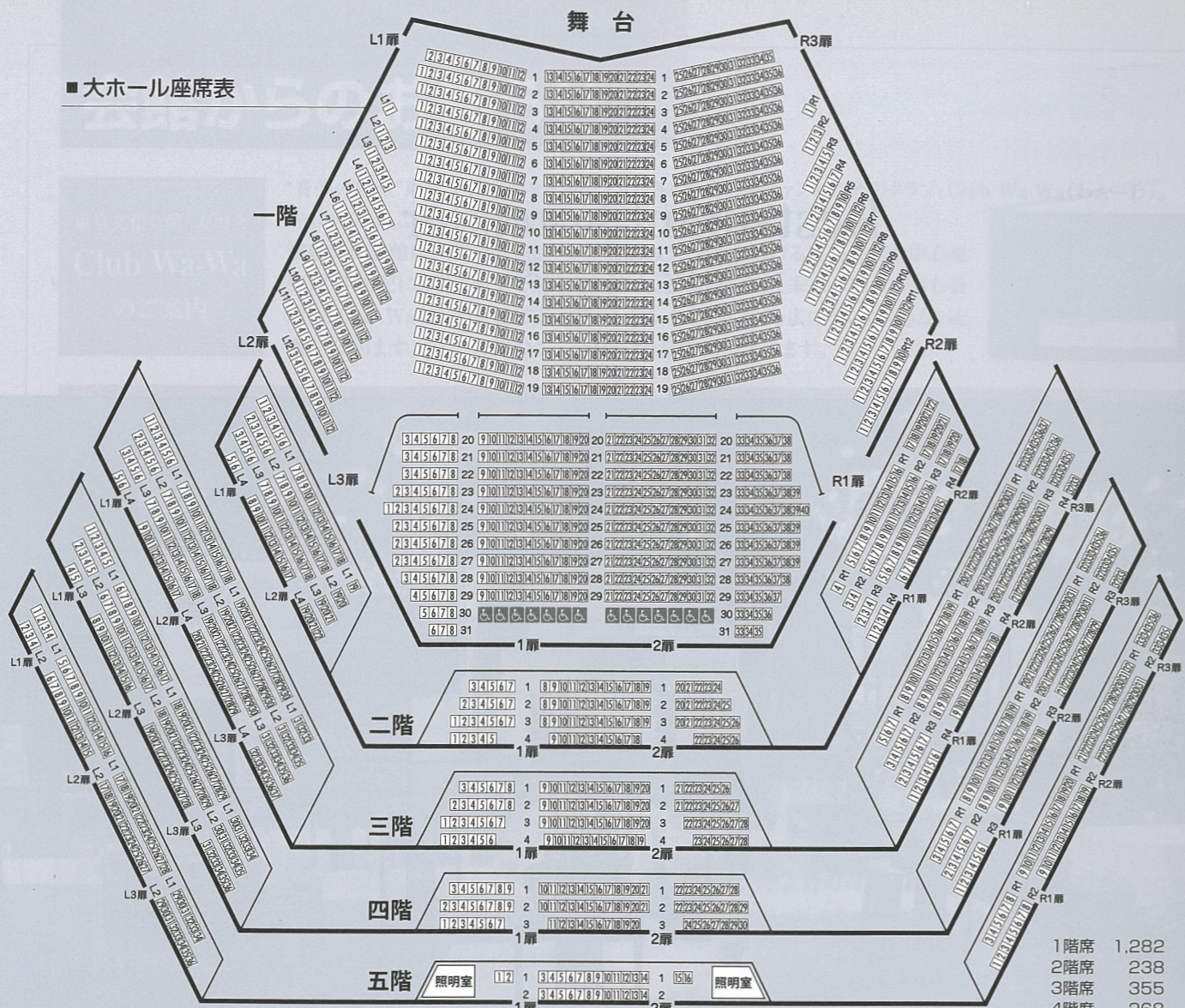
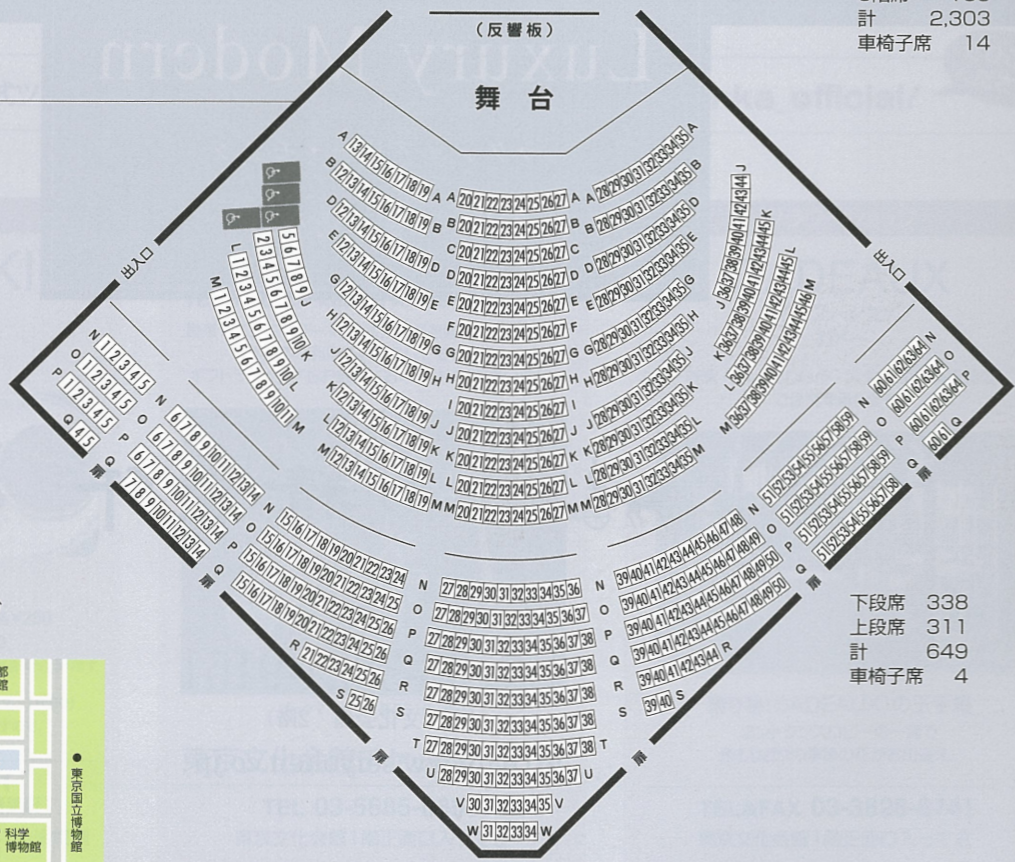


■大ホール座席表



1階席 1,282
2階席 238
3階席 355
4階席 268
5階席 160
計 2,303
車椅子席 14

■小ホール座席表



下段席 338
上段席 311
計 649
車椅子席 4

- JR線 「上野駅」公園口徒歩1分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線「上野駅」徒歩5分
- 京成線 「京成上野駅」徒歩7分



*当館には駐車場はございません。また、ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。あらかじめご了承ください。

音脈

Vol.52
2013.AUTUMN

平成25年8月31日発行(年4回発行)

発行・編集

公益財団法人東京文化会館
〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111(代)
http://www.tbunka.jp/

印刷・製本 JTB印刷株式会社
光村印刷株式会社



東京文化会館モバイルサイト

音脈

ONMYAKU

公演情報 2013. 10-12

特集 出演者インタビュー



小曾根 真
Music Weeks in TOKYO 2013
小曾根 真&バキート・デリベラ
"Jazz meets Classic"
with 東京都交響楽団



堤 剛
Music Weeks in TOKYO 2013
プラチナ・シリーズ第3・4回
堤 剛&ルドルフ・プッフビンダー
ベートーヴェン チェロ・ソナタ
ツィクルス



沼尻竜典・小菅 優
《響の森》vol.34
「ニューイヤークンサート2014」

東京文化会館主催公演のご案内 8
木之下晃のレンズは語る 13
公演情報(10-12月) 14
音楽資料室より 20
都響ニュース Vol.29 21
会館からのお知らせ 22



Vol.52 AUTUMN

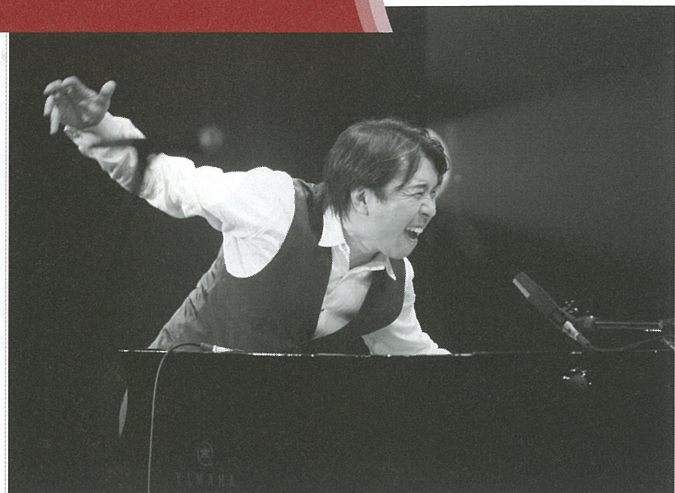


インタビュー①

Music Weeks in TOKYO 2013

小曾根 真(ピアノ)

聞き手：片桐卓也



©Yow Kobayashi

Music weeks in TOKYOは多彩なプログラムを用意して2013年も開催される。その中で大きな話題を呼ぶこと間違いなしの公演が、ジャズ・ピアニストの小曾根真とクラリネット界の巨匠パキート・デリベラが共演するコンサート「Jazz meets Classic with 東京都交響楽団」(10月26日東京文化会館、27日パルテノン多摩)である。プログラムは第1部がモーツァルトのクラリネット協奏曲、ラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」、そして第2部が小曾根×パキートによるジャズ・セッション。小曾根は11月2日に特別企画のワークショップも行なうことになっている。

巨匠パキート・デリベラとの出会い

パキート・デリベラは日本でも何度も公演を行っているが、ラテン音楽、ジャズ、クラシックとジャンルを超えて活躍してきたクラリネットの巨匠である。小曾根にパキート・デリベラとの出会いを聞いた。

「1986年9月のニューヨークのジャズクラブ、ブルーノートで、僕のトリオとパキートのクインテットが、いわゆるダブル・ビルという形で出演していたんです。僕はラテン音楽を子供の頃から聴いて育ってきたので、パキートの音楽にすごく関心があって、自分のバンドもそっこのけで毎晩彼のグループの演奏を聴いていました。そのうちに、じゃあ、ステージに上がって来いよ、一緒に演奏しようということになり、その公演期間の最後のほうでは、もうふたつのグループがほとんど混ざってしまうぐらい仲良しになったのです。それが最初のきっかけでしたね」

その後パキート・デリベラのアルバム『セレブレーション』(1987年)に参加した小曾根は、パキートのグループの日本ツアーでも共演を重ねた。

モーツァルト・ミーツ・ジャズ

「その後ちょっと時間が空いたのですが、2006年にポーランドの音楽祭で再会することになります。それは『ショパン・アンド・ヒズ・ヨーロッパ』というフェスティバルだったので

が、僕はモーツァルトのピアノ協奏曲を弾くことになり、誰かもうひとり、と思った時にパキートの顔が浮かんだ。そして彼はやって来てシンフォニア・ヴァルソヴィアとモーツァルトのクラリネット協奏曲を共演したのです。その時にふたりで、もっと何かが出来そうだねと話合っ、その後日本で実現したのが『Mozart meets Jazz』でした。そこでは、僕がピアノを弾きながらクラリネット協奏曲を共演したのですが、今回はさらに進化したバージョンをお届けします」

モーツァルトの名作クラリネット協奏曲を独奏クラリネットだけでなくピアノも加わって表現する。

「特に第2楽章を聴いて頂くと、どうしてこの編曲が可能になったのかが良く分かって頂けると思います。今回はジョシュア・タンが指揮を担当してくれるので、僕もピアノの演奏に集中しますから、前回よりもっとアグレッシブに参加したいと思っています」

ラフマニノフの名作にも挑戦

そしてラフマニノフの最後の大作協奏曲と言って良い「パガニーニの主題による狂詩曲」も楽しみだ。

「これは2012年に、NHK交響楽団のツアーの時に、尾高忠明さんの指揮で演奏していた作品です。その時に、僕はジャズ・ピアニストですからちょっとずつアドリブなどを加えて演奏していました。ラフマニノフの音符はとても多いので、その合間にアドリブを入れるのもなかなか大変だったのですが、そして、ある時に尾高さんが『そこまで弾けるなら、あえてアドリブ無しで、一度演奏してみたら。それを聴きたいな』と仰ってくれた。それなら、その期待に応えようと思って、今回はラフマニノフの世界にストレートに挑戦しようと思っています。実際のところ、僕がクラシック音楽に挑戦を始めてからほぼ10年が経ったので、今の自分の演奏を表現出来れば良いなど。幸いなことに、指揮者のジョシュア・タンは何度も共演して、その音楽の方向性もよく分かったので、安心して任せられますし、東京都交響楽団という、いま東京で最もエキサイティングなオーケストラが共演して下さるということで、とてもワクワクしています」

小曾根にとり、ラフマニノフの音楽の魅力はどのあたりに感じるのだろうか？

「まず魅力的なメロディ、そして『ラプソディ』ではその見事な変奏の世界ですね。ピアニストにとっては、ととてモチャレンジな作品ばかりで、ととて動きの多い、腕が疲れてしまうような部分の後で、さらに神経を使うような繊細な音を要求されたりします。そこがチャレンジャー精神をくすぐるところかな。ととて大変な作品であることは間違いありません」

それに加え、その演奏会の第2部には小曾根真とパキート・デリベラのふたりによるジャズ・セッションも披露される。

「これはまだどんなものになるのか、まったく分かりませんが、おそらく会場の皆さんに楽しんで頂けるような、熱い演奏になることは確実ですので、ぜひ楽しみにして下さい」

特別ワークショップで学ぶコミュニケーション術

その公演の後には「特別ワークショップ」が開催される(11月2日東京文化会館小ホール)。これは主に演奏活動を現在しているピアニストの方々に役立つような、実践的なワークショップとなる予定だ。

「最近よく考えるのは、音楽の原点とはなんだろう？ ということなんです。音楽とはやはり『音を楽しむ』ものであり、そこにはやっぱり演奏者が演奏をいかに楽しむかという要素が必要なのではないか。というのも、いま国立音楽大学でジャズを教えているのですが、みんな一種の型に押し込められている気がします。『こう弾きなさい』、あるいは『こう弾かなければダメ』というような枠の中でしか演奏が出来ない学生も多い。でも、音楽はそうじゃないでしょ？ 音楽は音楽であって、〈音学〉ではないんですよ。クラシックの場合も同じで、まず楽譜があり、弾かなければならない課題曲のようなものがあり、そこに縛りつけられている学生も多いように感じています。いかに自分の感性を信じるか、それが音楽に限らず、あらゆるアートには必要だと思うんですね。その感性を信じるところが最初で、難しい話ではないんですよ。まず自分の個性を知り、それを信じるのが大事、ということをお願いなんです」

さあ、そこでどんなことが起きるのか、なのだが。

「いろいろなセミナーやワークショップをする時に、こんな例えを出します。日本語を覚えた時に、まず文法から覚えたほうがいい。そうじゃなくて、もっと直感的なところから言葉を覚えて行ったはず。もし英語の文法だけしか知らないで英語圏に行ったら、ほとんど会話が出来ないと。まず自分の言いたいことを伝えること、それには現地でのトライ&エラーが大事になるのだと思う。あまりにもそのトライ&エラーを怖がって、間違えないように話そうとするから難しくなるんですよ。コミュニケーションする前に自分で壁を作ってしまう」

言葉の例は音楽にも通じるが、さらには他人とのコミュニケ

ーションにも通じてくる。

「僕個人の例で言うと、25~6歳の時にカナダのエドモントンという街にコンサートに行き、コンサート前にお寿司を食べに行き、とても美味しかったのでコンサート後も食べに行きました。美味しい、美味しいって食べてたら、そこの板前さんが『お客さんがそうやって美味しいって言って、目をきらきらさせながら食べてくれるのが一番嬉しい』と。で、僕もピアノを弾いていてお客さんに喜んでもらうのが一番楽しいと応えたら、じゃあ、いったいお寿司を美味しく食べてもらうには何が大事かという話に展開し、店が閉店時間になっても話し込んでしまったことがありました。あ、人とコミュニケーションするっていうのはこういうことなんだと。お寿司もコミュニケーションなら、音楽もコミュニケーションなんだということを学んだ訳です。お寿司を口に入れた時に、あ、美味しいという言葉が出る、そこがお寿司屋さんの勝負なのであって、五感に響く美味しさはどうやって作り出せるのか。その話を聞いた時に、僕は音楽も一緒だと思ったんです」

今回のワークショップでは、もちろんピアノを使って、そのコミュニケーションの方法を様々に探っていくというトライがなされるはず。

「もちろんピアニスト、音楽関係者の方が参加してくれるのも嬉しいですが、普通の方がいらしてくれるのも期待しています。以前、アメリカでこうしたセミナーをした時に、たまたま株のディーラーの方がその中に居て、コミュニケーションの話をしたところ、非常に自分の仕事に役立った、お客様とのコミュニケーションの取り方が分かるようになったと言われたこともあります。そういう意味で、単にアドリブの仕方教えます、というワークショップではなくて、もっと幅広い意味で、音楽を自由に捉えて、それを自分の演奏に活かし、聴き手の方々とコミュニケーションを取って行くか、そんなことが出来たら嬉しいと思っています」

Music Weeks in TOKYO 2013 メイン公演

小曾根 真&パキート・デリベラ “Jazz meets Classic” with 東京都交響楽団

10月26日(土) 15:00開演(14:20開場) 東京文化会館 大ホール

10月27日(日) 15:00開演(14:30開場) パルテノン多摩 大ホール

出演▶ピアノ：小曾根 真 スペシャル・ゲスト：パキート・デリベラ(クラリネット、サクソフォン)

指揮：ジョシュア・タン* 管弦楽：東京都交響楽団* *第一部のみ出演

曲目▶《第一部》モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

※オリジナル版にピアノも加わる特別版で演奏します。

ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 op.43

《第二部》ジャズ・セッション 小曾根 真×パキート・デリベラ



小曾根真 ©篠山紀信 パキート・デリベラ ©Great The Kabukicho ジョシュア・タン

料金 10/26 S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 学生席1,000円
10/27 S席5,000円 A席3,000円 学生席1,000円

チケット取扱 TS ハルテノン多摩(10/27のみ) 交通 e+ ロケッツ

メイン公演特別企画 小曾根 真ワークショップ「自分で見つける音楽」

小ホール

11月2日(土) 15:00開演(14:30開場)

料金 一般1,500円 25歳以下1,000円(全席自由)

チケット取扱 TS e+ ロケッツ

出演▶小曾根 真

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
提携 公益財団法人多摩市文化振興財団(10/27のみ) 協力 一般社団法人日本クラリネット協会(10/26,27のみ)

ています」

ベートーヴェンのチェロ・ソナタと変奏曲の全曲演奏は、チェロ奏者にとって並大抵のことではない。

「まず、ここの素晴らしい小ホールで弾けるのは、演奏家冥利に尽きます。音響も理想的です。

ベートーヴェンの5つのチェロ・ソナタは、第1番と第2番が前期、第3番が中期、第4番と第5番が後期というように、ベートーヴェンの全生涯をカバーしています。私のチェリストとしてのチャレンジは、それぞれの違ったピリオドの特徴をいかに弾き分けられるかです。音質や音色が変わっていくのを、いかにうまく表現できるか、ピアノと作り上げていくことができるか。特に後期の2曲は音の数が減りますが、1音1音が真珠の玉のような美しさです。プッフビンダーさんのように美しい音を持つピアニストと共演できるのは、チェリストとして本当に嬉しいことなのです。ベートーヴェンのチェロ・ソナタは、ピアノとのコラボレーションです。プッフビンダーさんは、もちろんウィーンの香りを感じさせてくださるでしょうが、私はいわゆる“ウィーン風”というよりは、王道を歩んでいる、正統的な演奏をされるピアニストだと思っています。ベートーヴェンの曲が自分の血となり肉となった、骨太の音楽を構築されています。私にとっては、学ぶ点が多いでしょうし、一緒に構築するのが楽しみです。

変奏曲は、ベートーヴェンの若い頃の作品で、彼はウィーンでピアニストとして活躍していました。当時流行っていた、ヘンデルやモーツァルトの音楽でこういうことも出来るんだよ、という可能性が示されています。ベートーヴェンは変奏曲の天才だったと思います。弾いていて、楽しいですね」

インディアナ大学や桐朋学園大学の教授を歴任するなど後進の指導にも熱心に取り組む堤が、11月3日に東京文化会館小ホールでマスタークラスを開く。

「限られた時間ですが、私としては、3つの部門でやりたいと思っています。まず、若くてこれから伸びていく“子供さん”、次に、プロとしてやってられる方、あるいは、これからプロとしてやっていく学生、そして、室内楽のレッスンです。将来のある方のお手伝いをするのは大事なことだと思っています。私は齋藤秀雄先生、シュタルケル先生という、厳しい先生のもとで、たくさんを学ばせていただきました。自分が教える立場になったとき、先生から学んだことを反芻するような形になりますが、次の世代につなげていくということが大事だと思います。シュタルケル先生は、『レッスンは、フィフティ・フィフティだ』とおっしゃっていました。レッスンが効果的に成り立つためには、生徒の努力が50パーセント、先生が新しいものを作り出すのが50パーセント。お互いが持ち寄って作り出すという意味です。レッスンは、ただ教えるだけではなく、二人の出会いがあって、ある意味、新しいものが作られる一種の創造活動でなければならない、というのが、私の基本的な姿勢です」

そのほか、東京文化会館で、堤は東京音楽コンクールの顧問

を務め、審査も行っている。

「東京音楽コンクールは、入賞者のアフター・ケアがいい。モーニングコンサートなどの東京文化会館の演奏会だけでなく、いろいろな演奏の機会が与えられます。本選まで残ると、大ホールでトップ・レベルの指揮者&オーケストラと共演するのも素晴らしい。オーケストラと共演するのは、このときが初めてという人も多いのです。弦楽器は、チェロだけのコンクールとは違って、すべてを一緒に比べます。違う楽器をどう判断するかは、私どもにとってのチャレンジとなります。

コンクールは人との競争ではなく、自分との競争です。ホロヴィッツは『自分が他人より上手だと思う人はまだ本物ではなく、今日の自分が昨日の自分より上手だと思えた時が真の成長なのだ』と言っています。

コンクールでは、私見ですが、これからどのように伸びていくのかというポテンシャルに着眼しています。これからの音楽界に貢献できるのだろうか、入賞することによってどういう成長をするのだろうか、という将来性を見ます」

演奏家としても堤は、もう半世紀近く東京文化会館のステージに立ってきた。初登場は1967年の日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会だった(プロコフィエフの交響的協奏曲を演奏)。

「東京文化会館ができたときは、びっくりしました。大ホールは、2000席を超えますが、チェロ1つで立ち向かって、孤独な感じはしないのです。何十年も、ホーム・カミングな、戻ってきたような温かさを感じます。このホールに見守られて演奏できているというような。小ホールは、持っている雰囲気個性的で、演奏家を試しているように感じます。「こうできる

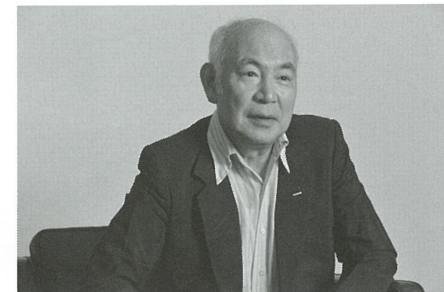
んじゃないか」と思わせてくれるのです」

堤は、演奏家であると同時に、サントリーホールの館長でもある。サントリーホール館長の目には東京文化会館はどう映るのだろうか。

「東京文化会館は、コンサートだけでなく、オペラ、バレエなど、バラエティに富んでいます。私にはサントリーホールへの責任がありますが、お互いサポートし合いながら、手を携えて、共存していければいいと思っています。私は、東京文化会館に育てていただいたという気持ちが強く、この素晴らしいホールのために何かしたいと思っています。私自身、東京文化会館で演奏もしましたが、ここで一流アーティストやオーケストラの素晴らしい演奏を聴いたことが、私の芸術家としての成長に欠かせませんでした」

今回のプッフビンダーとの共演も、サントリーホールとの協力のなかで実現したといえよう。

「大ピアニストと一緒に、しかもベートーヴェンが演奏できる。私にとってはひとつの夢みたいなことです。それが実現されようとしています。お客様も、ある意味で、私と一緒に夢を見ていただければと思います」



◎青柳 聡

◎青柳 聡

日本を代表するチェロ奏者の一人である堤剛が、ウィーンの誇る名ピアニスト、ルドルフ・プッフビンダーと初共演し、ベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲を演奏する。ちょうどこの秋、プッフビンダーは来日中のウィーン・フィルを相手にベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲の弾き振りをサントリーホールで予定である。

「プッフビンダーさんとは、個人的にお目にかかったこともありますし、演奏も聴いたことがあります。ただし、演奏をご一緒させていただくのは、今回が初めてです。

もともと私の師匠であるシュタルケル先生(注：今年4月に亡くなったヤーノシュ・シュタルケル)がプッフビンダーさんを知っていらして、よく演奏をご一緒されたり、レコーディングされたりしていました(注：ベートーヴェンやブラームスのチェロ・ソナタ全集の録音もある)。シュタルケル先生がプッフビンダーさんに私のことをおっしゃってくださって、プッフビンダーさんが私に興味を持ってくださっていたことで、今回の共演が実現しました。

プッフビンダーさんは、ウィーン古典派の演奏でこの人の右に出る人はいません。音楽を知り尽くして、ソリストとしても素晴らしい。アンサンブルの感覚も絶妙で、作られる音楽は、あたかも昨日作曲されたかと錯覚するくらい、生き生きとし

Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ 第3・4回 堤 剛&ルドルフ・プッフビンダー ベートーヴェン チェロ・ソナタ ツィクルス

小ホール

第3回 11月 7日(木) 19:00開演(18:30開場)

第4回 11月10日(日) 14:00開演(13:30開場)

出演▶チェロ：堤 剛

ピアノ：ルドルフ・プッフビンダー

曲目▶第3回 ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第1番 へ長調 op.5-1

チェロ・ソナタ第4番 へ長調 op.102-1

モーツァルトの「魔笛」の「娘か女か」の主題による12の変奏曲 へ長調 op.66

チェロ・ソナタ第3番 イ長調 op.69

第4回 ベートーヴェン：モーツァルトの「魔笛」の「恋を知る男たちは」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46

チェロ・ソナタ第2番 短調 op.5-2

ヘンデルの「ユーダス=マカベウス」の主題による12の変奏曲 長調 WoO.45

チェロ・ソナタ第5番 二長調 op.102-2

料金 S席4,800円 A席3,800円 B席2,000円(B席売切)

チケット取扱 TS e+

Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム(コラボレーション・プログラム) 堤 剛マスタークラス(チェロコース)

小ホール

11月3日(土) 10:30開講(10:00開場)

料金 聴講料1,000円(全席自由)

チケット取扱 TS e+

講師▶堤 剛

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

インタビュー③

《響の森》vol.34「ニューイヤーコンサート2014」

沼尻竜典(指揮) 小菅 優(ピアノ)

聞き手：山田治生



©青柳 聡

来年のニューイヤーコンサートに先立って、10月10日の東京フィルの定期演奏会では、ヘンツェのピアノ協奏曲第1番をご一緒します。

沼尻 ヘンツェのピアノ協奏曲第1番は、日本で演奏して、そのあとリユーベックでも演奏することにしました。あちらではベートーヴェンの「英雄」と組み合わせて、ヘンツェの業績を讃え、追悼しようという意図があります。小菅さんは私が指名しました。彼女はドイツ音楽に対する理解がずば抜けて深いのですから。今の時代は日本初演の難曲でも、ただやって紹介するだけではダメで、より良い演奏が求められています。

ニューイヤーコンサートでの共演は、チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番である。

小菅 チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番は、好きな曲なのですが、弾くのは久しぶりなんです。6~7年前はよく弾いていました。第1楽章が盛り沢山で、いいカデンツァもあります。しばらく弾いてなかった曲を弾くと、全然違うところが見えてくるので、前とはアプローチが変わると思います。チャイコフスキーの第1番は、意外と室内乐的なところがあり、管楽器との対話とか、すごく楽しみです。

最近、私はロシアによく行っています。雄大で、誇りを持ち、親しくなるまではオープンにならない時間があり、私はモスクワやサンクトペテルブルクだけでなく、シベリアでもコンサートをするのですが、外はものすごく寒くても、人々は温かい、そういうロシアの民族性を、チャイコフスキーの演奏でも出したいと思います。ただし、チャイコフスキーには残酷さも感じます。第3楽章とか、民族的なだけではなく、現実の怖さや悪い予感を感じます。ただ派手できれいな曲とは勘違いされたくないですね。

沼尻 ピアノ協奏曲第1番は、指揮者にとっては、内容が充実しすぎていて、一度演奏するとヘロヘロになってしまいます。よくこんな書きちゃったなというくらい、凄い曲ですよ。第2楽章の真ん中なんか、ありえないくらい現代音楽みたいで。ほとんど無調性なんです。指揮者もついていくのがたいへんです。名曲だから気軽にやるという音楽ではないんです。来年は、正月からこの曲をやるとなると、クリスマスも新年もないですね(笑)。

ここ数年、僕はショスタコーヴィチの交響曲をまとめてやっていて、声楽入りのものと第15番以外はすべて演奏したのですが、現代に近いショスタコーヴィチの方からチャイコフスキーを見ると、逆に流れがよく分かったりします。たとえば、交響

2014年の「ニューイヤーコンサート」は、ドイツのリユーベック歌劇場の音楽総監督に就任したばかりの沼尻竜典と、早くからドイツで活躍するピアニストの小菅優によるオール・チャイコフスキー・プログラム。二人の共演で強烈に印象に残っているのは、東日本大震災直後、ほとんどのコンサートがキャンセルされるなかで2011年3月26日にすみだトリフォニーホールで開かれた群馬交響楽団東京公演。

沼尻 実はこの群馬交響楽団の演奏会が、今のところ二人の最初で最後の共演なんです(笑)。

小菅 曲はベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番でしたが、マエストロのことを、ナチュラルな音楽を作られる方だと思いました。

沼尻 僕はあんまり変わったことはしないほうですから。ベートーヴェンの第4番で、合わせるのが難しい曲なんです。特に第1楽章のテンポ設定や、第3楽章でピアノに細かい音符のあるところ。でも、ぎくしゃくすることなく、何も問題なく演奏できました。あのときは、震災のあとで、日本はどうなるのか、クラシック音楽をやっている場合か、など考え、重苦しい雰囲気でした。

小菅 自分も暗くなっていました。その分、気持ちのこもった演奏ができました。



©青柳 聡

曲第6番「悲愴」の第3楽章のある部分を、ショスタコーヴィチだと思って演奏すると面白い。ショスタコーヴィチはチャイコフスキーよりも濃くエッセンスが出ていますから。もちろん、チャイコフスキーをショスタコーヴィチだと思ってやるというアプローチは、今の音楽家にしかできませんが。

最近の名曲コンサートをあまりやってなくて、チャイコフスキーの交響曲第5番を振るのも久しぶりです。名曲はたまにやると自分の変化がわかって面白い。前より楽になっていたり、逆にわからなくなっていたり、自分の状態を図ることができず。

チャイコフスキーには、独特の視線の鋭さがあります。グサッとくるような。それから、気が狂ったようなところもありますよね。第4楽章なんて、最後の4分の6拍子のコードに入る前で、拍手が来たりしますが(笑)、もうそこまでお腹一杯だからですよ。ここで終わりでもいいくらいなのに、さらにトドメを刺すような音楽が続きます。演奏者はそれに負けないようにしないとイケません。

ショスタコーヴィチには、聴いている方の気持ちを考えず何度も繰り返したり、極端な弱音を多用して緊張を強いる残酷性があります。そういう怖さを共通項にして、チャイコフスキーもショスタコーヴィチも根でつながっているように思います。

小菅 先ほど、チャイコフスキーの残酷さについて話をしましたが、ピアノ協奏曲第1番には、最終的に愛があります。大自然を感じます。年の始めに、新しい気持ちを持って、希望をもって、聴いてくださったらいいと思います。

沼尻 重量級の名曲でガツンと行くニューイヤー。一見楽しい音楽の裏にある、いろいろな感情の綾を感じ取っていただければと思います。

この二人なら、お屠蘇気分もどっかに行ってしまう、そんなドラマティックなチャイコフスキーが聴けるだろう。そんな二人に、東京文化会館の思い出をきいた。

小菅 東京文化会館では、聴きにきた思い出が強いんですね。私は、小さい頃、母と祖母とともに、サークルの会員になって、毎月、4階席に通ってました。ついこの間もフィリップ・ヘレヴェッヘさんとシャンゼリゼ管弦楽団のモーツァルトの「レクイエム」をここで聴きました。小ホールは、リサイタルや室内楽で演奏しましたが、ちょうどいい残響と雰囲気があり、大好きです。大ホールは、弱く弾いても音が上まで届く。無理に音を出す必要がなく、オーケストラが聴きやすいですね。管楽器とも違和感がありません。

沼尻 僕が学生の頃は、東京文化会館で演奏することが皆の目標でした。指揮者であれば、大ホールの第1楽屋から颯爽と出て来る自分を夢見ていた...そういうホールです。

観たもので一番印象に残っているのは、81年にカルロス・クライバーが指揮したスカラ座の「ボエーム」ですね。徹夜で並んでチケットを買い、5階席で観ました。あれは凄かった。安い席はステージに近く、指揮者の真上で真横なんです。この5階席は、僕のふるさとですね(笑)。また、大ホールの舞台の反響板には隙間があり、指揮者を見るのにちょうどいいんです。そこからいろんな指揮者を観察させてもらいました(笑)。

東京文化会館は容積があるから、オペラを指揮する時には、バランスに気を使いますね。でもホールがうまく出来ていて、バランスさえきちんとしてれば隅々まで音が届くのです。一度、ここでアンネ=ゾフィー・ムターと演奏したことがあるのですが、彼女は大きな音では弾かないのに、ちゃんと音が届いているんですね。すぐにホールの特徴を掴んで活かすところは、さすがムターでした。

東京文化会館への希望を述べると、自主制作のオペラをやってほしいですね。ここが年に2~3本自主制作のオペラをやったら、日本は変わります。パステューユ・オペラに対するシャンゼリゼ劇場、ウィーン国立歌劇場に対するアン・デア・ウィーン劇場のような位置づけで、新国立劇場と共存して行けるでしょう。たまにはゲリラ的な演目で、ヨーロッパからもファンが観に来るようなオペラのプロデュースを是非。都響もこの場所にいるのですから。東京は1200万人の都市なので、オペラ劇場が3つくらいあってもいいと思います。



©青柳 聡

《響の森》vol.34「ニューイヤーコンサート2014」 大ホール

平成26年1月3日(金) 15:00開演(14:20開場)

出演▶指揮：沼尻竜典
ピアノ：小菅 優
管弦楽：東京都交響楽団
曲目▶チャイコフスキー：
歌劇「エフゲニー・オネーギン」より「ボロネーズ」
ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23
交響曲第5番 ホ短調 op.64



沼尻竜典
©Ryudoichi Aratani

小菅 優
©Marco Borggreve

料金 S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円 ※各種割引あり
チケット発売日 9月6日(金)【東京文化会館友の会・都響会員先行発売：8月31日(土)】
チケット取扱 TS 郵便 交通 e+ 中野

舞台芸術創造事業 ~Percussion×Dance×Art~
 ニルヴァーナ —泥涸— 土取利行 meets サルドノ W. クスモ

小ホール

世界的パーカッショニスト土取利行とインドネシアの革新的舞踊家クスモが出会う。
 今秋、日本とインドネシアのスーパーアーティストの初共演が実現!!
 「涅槃」を意味する「ニルヴァーナ」「泥涸」をテーマに、先鋭的な舞台が生まれます。

9月7日(土)

18:00開演 (17:30開場)

出演▶土取利行(音楽家、パーカッショニスト)
 サルドノ W. クスモ(振付、舞踊家)



土取利行 サルドノ W. クスモ

料金 S席5,800円 A席3,800円 B席2,000円 ※各種割引あり

チケット取扱 TS e+

舞台芸術創造事業 「ギリシャ悲劇 王女メディアの物語」
 人形劇俳優たいらじょう × 古楽アンサンブル

小ホール

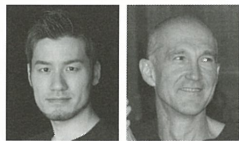
人形劇と古楽アンサンブルによるコラボレーション。ギリシャ三大悲劇詩人、エウリピデスの代表作を現代の感覚にあった演出で取り上げ、人間の情念に迫る音楽劇をお届けします。

平成26年3月1日(土)

15:00開演 (14:30開場)

原作▶エウリピデス
 脚本・演出・美術・人形操演▶たいらじょう
 演奏▶
 音楽監修/リコーダー: セバステイアン・マルク
 アンサンブル・レナシオン
 リコーダー: 宇治川朝政

ヴァイオリン: 宮崎容子、廣海史帆
 ヴィオラ: 秋葉美佳
 チェロ: 懸田貴嗣
 チェンバロ: 福岡 彩
 曲名▶ 独創的な劇のイメージに基づき、バロック時代の様々な作曲家の作品から選曲



たいらじょう S.マルク

料金 S席5,800円 A席3,800円 B席2,000円 ※各種割引あり
 チケット発売日 10月5日(土)/友の会先行発売: 9月21日(土)
 特別協賛 レンゴー株式会社

チケット取扱 TS e+ ヴォイス・ファクトリー

東京文化会館オペラBOX ビゼー作曲「カルメン」(ハイライト版・日本語上演)

小ホール

初めて観る方でも楽しめるオペラ。名作中の名作「カルメン」を「奇跡的な音響」と称される小ホールでお楽しみください。

11月24日(日)

14:00開演 (13:30開場)

演出▶恵川智美
 音楽統括・指揮▶佐藤 宏
 出演▶カルメン: 向野由美子

スタッフ▶美術: 荒田 良
 衣裳: 増田恵美
 照明: 望月太介
 振付: 伊藤範子
 舞台監督: 田中義浩
 児童合唱指導: 田中美佳
 演出助手: 清水龍之介

ドン・ホセ: 村上敏明 *第3回東京音楽コンクール声楽部門第3位
 エスカミーリョ: 高橋洋介 *第9回声楽部門第2位及び聴衆賞
 ミカエラ: 上田純子 *第8回声楽部門第1位
 スニガ: 党 主税
 フラスキータ: 清水理恵 *第7回声楽部門第1位及び聴衆賞
 メルセデス: 八木寿子 *第9回声楽部門第1位
 レメンダド: 宮里直樹 *第10回声楽部門第2位<最高位>及び聴衆賞
 ダンカイロ: 湯澤直幹
 ナビゲーター: 朝岡 聡
 合唱: 音楽大学連携合唱団
 (上野学園大学・同短期大学部 他)
 児童合唱: Coro Amigo(ワークショップ「オペラをつくらう」参加者)



恵川智美 佐藤 宏 向野由美子 村上敏明 高橋洋介 上田純子 党 主税
 清水理恵 八木寿子 宮里直樹 湯澤直幹 朝岡 聡 押部朋子

料金 指定3,000円 ※各種割引あり

主催 上野中央通り商店会/東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団) 予定販売枚数終了 チケット取扱 TS e+

第11回東京音楽コンクール 優勝者コンサート

大ホール

平成26年1月19日(日)

14:00開演 (13:20開場)

出演▶指揮: 梅田俊明
 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団
 司会▶朝岡 聡



梅田俊明 朝岡 聡

料金 指定2,000円 ※各種割引あり
 主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/読売新聞社/花王株式会社/東京都
 協賛 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社/株式会社コンサートサービス/サントリーホールディングス株式会社/東京ガス株式会社
 東京地下鉄株式会社/三井住友海上火災保険株式会社/森平舞台機構株式会社
 協力 新日本フィルハーモニー交響楽団/東京交響楽団/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/東京都交響楽団/東京フィルハーモニー交響楽団
 日本フィルハーモニー交響楽団/読売日本交響楽団/東京オーケストラ事業協同組合

チケット取扱 TS e+

Music Weeks in Tokyo 2013 プラチナ・シリーズ

小ホール

「奇跡の音響」と称される小ホールで贅沢なひと時を。国内外の一流アーティストによる珠玉のコンサートをお楽しみください。

第1回 ウィッシュフル・シンギング
 奇跡の女声アカペラ・アンサンブル

10月18日(金)

19:00開演 (18:30開場)

出演▶アカペラ・アンサンブル: ウィッシュフル・シンギング
 ソプラノ: アン=クリスティーン・ヴェメカン、マリア・ゲッツェ
 メゾ・ソプラノ: マルヨライン・フェアブルク
 アルト: アネミク・ファンデルフェン、マルヨライン・ストツ
 曲目▶スカラッチェ: 私の心よ、弱ってはならぬ
 松下 耕: ルクス・エテルナ
 日本古謡(松下 耕 編曲): さくら
 レノン=マッカートニー: イエスタデイ
 リチャード・レイ: 瞳のささやき ほか
 (企画監修: 松下 耕)



ウィッシュフル・シンギング ©Patrick Post

第5回 河野克典&小林沙羅
 ミュラーと松本隆 2つの「冬の旅」

平成26年1月31日(金)

18:30開演 (18:00開場)

出演▶ソプラノ: 小林沙羅(日本語版)
 バリトン: 河野克典(原語版)
 ピアノ: 小原 孝(日本語版)
 三ツ石潤司(原語版)
 曲目▶シューベルト: 「冬の旅」D.911(松本隆訳 日本語版)
 シューベルト: 「冬の旅」D.911(原語[ドイツ語]版)



河野克典



小林沙羅 ©岩切 等

第6回 武満 徹ソングブック・コンサート

平成26年3月8日(土)

19:00開演 (18:30開場)

出演▶ショーロクラブ with ヴォーカリスト and 谷川俊太郎
 歌: アン・サリー、沢 知恵、おおたか静流、おおはた雄一、松平 敬、
 松田美緒、tamamix
 演奏: ショーロクラブ 秋岡 欧(バンドリン)、笹子重治(ギター)、
 沢田穠治(コントラバス)
 詩朗読: 谷川俊太郎
 曲目▶翼/めぐり逢い/うたうだけ/明日ハ晴レカナ、曇リカナ/
 (予定) 鳥へ/恋のかくれんぼ/小さな空/見えないこども/
 ワルツ~他人の顔/死んだ男の残したものは/三月のうた/
 燃える秋/MI-YO-TA



谷川俊太郎 ©菊池一郎

第2回 ブルーノ=レオナルド・ゲルバー
 ベートーヴェンへのオマージュ

10月19日(土)

14:00開演 (13:30開場)

出演▶ピアノ: ブルーノ=レオナルド・ゲルバー
 曲目▶ベートーヴェン:
 ピアノ・ソナタ第15番 ニ長調 op.28「田園」
 ピアノ・ソナタ第3番 ハ長調 op.2-3
 ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2「月光」
 ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 op.57「熱情」



ブルーノ=レオナルド・ゲルバー

第3-4回 堤 剛&ルドルフ・ブッフビンダー
 ベートーヴェン チェロ・ソナタ ツィクルスI&II

※詳しくは特集②(4~5ページ)をご覧ください。

料金 S席4,800円 A席3,800円 B席2,000円(【第1~4回】B席売切)

チケット発売日 第1~4回: 発売中/第5-6回: 9月14日(土)発売

主催 東京都/東京文化会館/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット取扱 TS e+

モーニングコンサート

小ホール

500円で楽しむ、東京音楽コンクール入賞者による朝の一時間コンサート。

各日 11:00~12:00(10:30開場)

Vol.73 9月10日(火)

出演▶ピアノ:桑原志織 *第10回ピアノ部門第2位
 作曲▶ショパン:ピアノ・ソナタ第3番 ロ短調 op.58
 ラフマニノフ:ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 op.36 (1931年版) ほか

Vol.74 10月10日(木)

出演▶バリトン:高橋洋介 *第9回声楽部門第2位及び聴衆賞
 ピアノ:渡辺知子
 作曲▶ヴェルディ:『ドン・カルロ』より“私に最後の日が来しました”
 ビゼー:『カルメン』より“闘牛士の歌” ほか

Vol.75 11月1日(金)

出演▶チェロ:上野通明 *第10回弦楽部門第2位
 ピアノ:安宅 薫
 作曲▶黛 敏郎:文楽
 プラムス:チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 op.38 ほか

Vol.76 12月4日(水)

出演▶ホルン:氏家 亮 *第10回金管部門第3位及び聴衆賞
 ピアノ:室伏琴音
 作曲▶ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ
 ビルス:ソナタ形式による3つの小品より 間奏曲 ほか

料金 全席自由 500円 チケット発売日 Vol.73~76:発売中/Vol.77~79:11月1日(金)発売
 協賛 上野中央通り商店会

Vol.77 2014年1月22日(水)

出演▶メゾソプラノ:富岡明子 *第1回声楽部門第3位
 ピアノ:東 由輝子
 作曲▶モーツァルト:『フィガロの結婚』より
 “恋とはどんなものかしら” ほか

Vol.78 2014年2月13日(木)

出演▶ヴァイオリン:小川響子 *第10回弦楽部門第1位及び聴衆賞
 ピアノ:山中惇史
 作曲▶フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ほか

Vol.79 2014年3月11日(火)

出演▶クラリネット:極木亜裕美 *第7回木管部門第1位
 ピアノ:松山玲奈
 作曲▶ガーシュウィン:ラブソディ・イン・ブルー ほか



桑原志織 高橋洋介 上野通明 氏家 亮 富岡明子 小川響子 極木亜裕美

チケット取扱 TS e+ ロソン

創遊・楽らいぶ —音楽家と落語家のコラボレーション—

小ホール

Vol.25 9月18日(水)

11:00~12:00(10:30開場)

出演▶落語:三遊亭右紋
 演奏:デュオ・ケーナルパ
 (ケーナ:八木倫明、アルパと歌:池山由香)
 第1部▶ミニコンサート
 第2部▶落語と音楽のコラボレーション
 「正しいラーメンの食べ方」



三遊亭右紋 デュオ・ケーナルパ

Vol.26 12月13日(金)

11:00~12:00(10:30開場)

出演▶落語:桂 歌春
 ピアノ:HIROSHI
 第1部▶ミニコンサート
 第2部▶落語と音楽のコラボレーション

料金 全席自由 500円 チケット発売日 Vol.25:発売中/Vol.26:9月18日(金)発売
 主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/公益社団法人落語芸術協会
 共催 日本音楽家ユニオン/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]

チケット取扱い TS e+

ティータムコンサート

大ホール
ホワイエ

昼下がりのひととき、大ホールホワイエで行う東京都交響楽団のメンバーによる無料コンサートをお楽しみください。

9月26日(木) オーボエ四重奏 13:00~13:40(12:30開場)

出演▶オーボエ:鷹栖美恵子
 ヴァイオリン:谷口哲朗
 ヴィオラ:村田恵子
 チェロ:松岡陽平
 作曲▶モーツァルト:オーボエ四重奏曲
 プリテン:幻想四重奏曲

料金 入場無料
 主催 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)/公益財団法人東京都交響楽団

10月24日(木)

未定

12月10日(火)

未定



Music Weeks in TOKYO 2013 まちなかコンサート

1 芸術の秋、音楽さんぽ

上野公園及び近隣にある様々な文化施設と、武蔵小金井にある江戸東京たてもの園で無料コンサート「まちなかコンサート〜芸術の秋、音楽さんぽ〜」を開催します。
 東京音楽コンクール入賞者を中心としたアーティスト達の若さ溢れる演奏を、コンサートホールとは一味違った趣のある空間でお楽しみください。

日時・会場▶9月28日(土) 11:00~12:20~/13:50~/15:10~ 江戸東京たてもの園 子宝湯 11:00~/13:30~ 東京国立博物館 表慶館エントランスホール	10月13日(日) 13:00~/15:00~ 国立国会図書館 国際子ども図書館 ホール3階
9月29日(日) 11:00~/12:20~/13:50~/15:10~ 江戸東京たてもの園 子宝湯	13:30~/15:00~ 国立科学博物館 日本館中央ホール
10月5日(土) 10:30~/11:30~ 東京文化会館 キャノビー(雨天中止) 13:00~/15:00~ 旧岩崎邸庭園 洋館内	14:00~/15:00~ 東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートラウンジ
10月6日(日) 10:30~/11:30~ 東京文化会館 キャノビー(雨天中止) 13:00~/14:30~ 恩賜上野動物園 動物園ステージ (雨天時:動物園ホール)	10月14日(月・祝) 13:00~/14:00~ 旧吉田屋酒店(屋外:雨天中止) 14:00~/15:00~ 東京都美術館 佐藤慶太郎記念アートラウンジ
10月12日(土) 13:00~/15:00~ 旧岩崎邸庭園 洋館内	出演▶東京音楽コンクール入賞者等を中心とする新進演奏家によるソロ、アンサンブル

料金 入場無料(施設への入館料・入園料が別途必要な場合があります)
 主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 共催 公益財団法人東京都公園協会(旧岩崎邸庭園)
 国立国会図書館国際子ども図書館

2 まちなかスペシャルvol.2 ~Navigatorコバケンのクラシック入門~

小ホール

10月20日(日)

14:00開演(13:30開場)

東京文化会館音楽監督、炎のマエストロ=コバケン(小林研一郎)がナビゲーターとなり、クラシックの世界へ導きます。
 東京音楽コンクール入賞者を中心とした新進気鋭のアーティスト達が名曲の数々を披露します。

出演▶ナビゲーター:小林研一郎
 ヴァイオリン:依田真直 *第4回弦楽部門第2位、塩田 脩
 ヴィオラ:瀧本麻衣子 *第10回弦楽部門第3位
 チェロ:藤井 泉
 コントラバス:高橋洋太
 トランペット:多田将太郎 *第8回金管部門第1位及び聴衆賞、川村 大
 ホルン:氏家 亮 *第10回金管部門第3位及び聴衆賞
 トロンボーン:藤原功次郎 *第6回金管部門第1位及び聴衆賞
 テューバ:柳生和太
 テノール:村上敏明 *第3回声楽部門第3位
 ピアノ:富永愛子 *第6回ピアノ部門第1位、土屋麻美
 曲目▶ヴァイヴァルディ:『四季』より“秋”第1楽章
 シューベルト:ピアノ五重奏曲「ます」より 第4・5楽章
 アンダーソン:トランペット吹きの休日
 エルガー:行進曲「威風堂々」第1番
 ララ:グラナダ
 クルティス:帰れソレントへ
 プッチーニ:『トゥーランドット』より“誰も寝てはならぬ” ほか



小林研一郎 依田真直 塩田 脩 瀧本麻衣子
 藤井 泉 高橋洋太 多田将太郎 川村 大
 氏家 亮 藤原功次郎 柳生和太 村上敏明
 富永愛子 土屋麻美

料金 全席自由1,000円 予定販売枚数終了
 主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット取扱 TS e+ ロソン

チケットはこちらから

TS	東京文化会館チケットサービス	03-5685-0650
都	都響ガイド	03-3822-0727
チ	チケットぴあ	0570-02-9999
e+	イープラス	http://eplus.jp/t-bunka/
ロソン	ローソンチケット/クラシック・演劇専用回線	0570-000-407
バルテ	チケットバルテ	042-376-8181
ヴォイス	ヴォイス・ファクトリー チケットデスク	03-5388-9990
シビック	シビックチケット	03-5803-1111

*各種割引・東京文化会館友の会のチケット取扱いは、東京文化会館チケットサービスのみとなります。

■お問合せ
 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111(代表) http://www.t-bunka.jp/
 *都合により曲目等が変更になる場合があります。*未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。

Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム：コラボレーション・プログラム

プラチナ・シリーズに出演するアーティストによるワークショップやマスタークラスを開催します。

1 ヴィッシュフル・シンギング ワークショップ
10月16日(水) 18:30開講(18:30開場)
 会場▶東京都江戸東京博物館 1階ホール

2 堤剛マスタークラス(チェロコース)
11月3日(日) 10:30開講(10:30開場)
 ※詳しくは特集②(4~5ページ)をご覧ください。

料金 聴講料1,000円(全席自由)
 共催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

チケット取扱

Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム：国際連携企画

海外で最先端の教育普及活動を行っている劇場と連携して実施するエデュケーション・プログラム。初年度となる今回はエデュケーション・プログラムが豊富な劇場としてヨーロッパで注目を集めているポルトガルのカーザ・ダ・ムジカ Casa da Músicaと連携して、同劇場で実施されている最先端のワークショップを実践しながら、ワークショップ・リーダーを育成し、日本の土壌にふさわしいワークショップ作品を創り上げていきます。今年度は、事業の趣旨に賛同した文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)の協力を得て「国際連携企画」を実施いたします。

ジョルジュ・ブレンドラス(カーザ・ダ・ムジカ エデュケーション・プログラム・コーディネーター)からのメッセージ
 カーザ・ダ・ムジカは国内外の音楽シーンの発展に貢献することをねらいとした、ポルトガルの文化施設です。私たちのエデュケーション・サービスは数多くの人々のために、非常に幅広いアクティビティを提供しています。私たちがこれまで培ってきた経験を東京文化会館と分かち合う機会を頂き、ワクワクしています。



ジョルジュ・ブレンドラス

プログラム1 公開講座

カーザ・ダ・ムジカで実践されているワークショップやその取り組みを紹介しながら、教育普及プログラムとその重要性について説く講座です。

12月6日(金) 18:30開講
 会場▶東京文化会館会議室
 講師▶ジョルジュ・ブレンドラス
 定員▶80名
 申込期間▶10月1日(火)~11月15日(金)消印有効
 聴講料▶無料(事前申込制)

プログラム2 ワークショップ・リーダー育成プログラム

12月6日(金)~9日(月) 及び平成26年2月6日(木)~9日(日)

※12月及び2月の両コースにご参加いただけます。
 ※12月10日(火)~2月5日の期間中に、ワークショップ創作作業を数日予定しています。

会場▶東京文化会館、文京シビックセンター、アカデミー音羽、東京芸術劇場
 講師▶ジョルジュ・ブレンドラス
 パウロ・ネート、ジョルジュ・ケイジョ(カーザ・ダ・ムジカ アーティスト)
 内容▶●カーザ・ダ・ムジカワークショップ・リーダーによるデモンストレーション
 ●グループ毎のワークショップ創作
 ●選ばれたワークショップ作品の一般公開(平成26年2月)
 ●最優秀と認められた受講生1名をカーザ・ダ・ムジカに研修生として派遣(平成26年3月予定)。渡航費及び宿泊費は東京文化会館が負担。
 募集人数▶15~20名程度 募集期間▶9月15日(日)~10月31日(木)消印有効 受講料▶10,000円

プログラム3 ワークショップ~子供からファミリーまで~

ワークショップ① ボディ・パーカッション (カーザ・ダ・ムジカ オリジナル作品)

みんなが生まれながら持っている音の力を発見しよう! 特別な能力は何も必要じゃない。手を叩いたり、飛び跳ねたり、ビートボックスをしたり、頭のでっぺんからつま先までが面白い打楽器になる!

平成26年**2月8日(土)** 10:30開始
 会場▶東京文化会館 小ホール 対象▶6歳以上~大人 定員▶50名程度

ワークショップ② リズミカル・キッチン (カーザ・ダ・ムジカ オリジナル作品)

お皿、ポット、グラス、色々な食器で音とリズムの料理を作ろう! いつも使っているキッチン用具がこれまでは違うものに見えるはず!

平成26年**2月8日(土)** 15:30開始
 会場▶文京シビックセンター
 対象▶小学校1~3年生
 定員▶30名程度



ワークショップ③ コオロギの大冒険 (カーザ・ダ・ムジカ オリジナル作品)

2匹の元気なコオロギと一緒に大冒険にいこう! 山や谷、そしてピクニックで発見する自然の音、変わった音、どんな音でも楽しい音楽に大変身。

平成26年**2月9日(日)** 11:00開始
 会場▶東京文化会館 小ホール
 対象▶生後6ヶ月~18ヶ月
 定員▶15名程度
 ※乳児1名につき保護者2名まで参加可



ワークショップ④ 東京文化会館オリジナル・ワークショップ (a,b,c)

今回の企画の中で生み出される東京文化会館発のオリジナル・ワークショップ作品。内容詳細は東京文化会館ホームページにて1月に発表予定です。

平成26年**2月8日(土)~9日(日)**
 会場▶東京文化会館、文京シビックセンター

プログラム3 参加料500円(11月8日(金)発売) ※各ワークショップ、約1時間を予定しています。 ※途中入場はできません。
 チケット取扱 (ワークショップ④cのみ) (ワークショップ②、④aのみ)

主催 東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団) 共催 文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)
 協力 上野学園大学 後援 ポルトガル大使館、台東区教育委員会

東京文化発信プロジェクトとは
 東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。www.bh-project.jp

木之下晃の語る
 レンズは語る

写真・文 木之下晃

サー・コリン・デイヴィスが、今年4月14日に85歳で逝去した。少々遅くなったけれど、巨匠の東京文化会館での思い出を残しておきたい。

巨匠が初来日したのは79年9月で、コヴェント・ガーデン・ロイヤル・オペラハウスの引越し公演だった。総勢約300名で、歌手117名、オーケストラ95名という陣容だった。演目は『ピーター・グライムス』、『トスカ』、『魔笛』で、音楽監督である巨匠が全ピットに入った。

この時に上演された『ピーター・グライムス』は、今なお語り継がれている名舞台であった。演出はイギリスのイライジャ・モシンスキーで、ステージは海岸を想わず砂利敷きと粗末な小屋をイメージさせる板張りだけの荒涼とした光景で、幕は上がったままのオープンスペース。そこで展開された寂寥とした疎外感が漂う人間ドラマは、伝統のシェイクスピア劇を見る思いがした。それを支える巨匠の緊迫した音楽は、その後これを凌駕するものに会っていない。

『魔笛』が上演された9月21日に、巨匠の末のお嬢さんが誕生。それを祝ってカーテンコールで、パパゲーノ役のトーマス・アレンが子供たちと共に、ウサギの縫いぐるみをプレゼントしたシーンも懐かしく記憶に残っている。

巨匠の東京文化会館でのオーケストラ公演は、84年と88年の2度、バイエルン放送交響楽団の指揮台に立ったのを撮影している。巨匠はこのオーケストラの首席指揮者として10年間活躍。丁度、還暦前後の最も脂が乗った時で、情熱を秘めつつ、優美な音楽づくりは絶品だった。巨匠は私が知る限り、指揮者の中で最も穏やかで気品あふれる人柄。彼の周囲はいつも人を和ませる空気に充ち、巨匠の演奏を聴いたあと、「音楽とは、人間性そのもの」だと、納得させられていた。家庭では、イラン人のシャムシイ夫人と大恋愛して結婚。3人のお子さんがい

気品漂うイギリス紳士
 ~サー・コリン・デイヴィス~



コリン・デイヴィス(バイエルン放送交響楽団) 1984.5.22 東京文化会館 ©Akira KINOSHITA

る。今、指揮者として活躍しているジョセフ・ヴォルフは彼の子息で、親の七光りを嫌って、名前を変えている。04年、巨匠に初来日した時のポートレイトを手渡すと、「ジョセフとそっくり」と顔をほころばせ父親の顔になっていた。巨匠の趣味の一つ。仕事が暇な折、田

舎の別荘へ行って、料理をしながらセーターを編むことだと、楽しそうにパイプをくゆらせていた。

お詫びと訂正
 前号(Vol.51)の「木之下晃の語る」において、写真のキャプションに誤りがございました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。
 (誤)1951.11.6 東京文化会館 → (正)1976.11.6 東京文化会館

3日(水) 19:00 日本舞踊とオーケストラ 新たな伝統へ向けてー

5日(土) 18:30 「東京発・伝統WA感動」音の息吹き

7日(月) 19:00 都民劇場音楽サークル第611回定期公演

12日(土) 15:00 14日(月・祝) 15:00 東京バレエ団「ジゼル」

15日(火) 13:30 (貸切公演) 18:30 ブラハ国立歌劇場「魔笛」

18日(金) 18:30 19日(土) 14:00 20日(日) 14:00 Kバレエカンパニー「白鳥の湖」

23日(水) 19:00 東京都交響楽団 第759回定期演奏会

24日(木) 14:30 東京文化会館バックステージツアー

26日(土) 15:00 Music Weeks in TOKYO 2013 小曾根真&バキート・デリベラ

29日(火) 19:00 O.F.C. 合唱舞踊劇「カルミナ・ブラーナ」「グロリア」

29日(火) 19:00 O.F.C. 合唱舞踊劇「カルミナ・ブラーナ」「グロリア」

1日(火) 19:00 廻由美子ピアノリサイタル

2日(水) 19:00 奈良場恒美ピアノリサイタル

3日(木) 19:00 熊本マリ ピアノリサイタル

5日(土) 17:30 サウンド・ライブ・トーキョー

6日(日) 15:00 大工哲弘

7日(月) 19:00 萩原貴子フルトリサイタル

8日(火) 19:00 ティエラ ピアノデュオのタペvol.3

9日(水) 19:00 佐藤卓史 ベートーヴェン4大ピアノソナタを弾く

10日(木) 11:00 東京文化会館モーニングコンサートvol.74

10日(木) 19:00 ライナー・キュッヒル ヴァイオリンリサイタル

11日(金) 19:00 第27回 岸本カバシリサイタル

12日(土) 19:00 東京音楽コンクール入賞者リサイタル

13日(日) 14:00 西尾舞衣子ソプラノリサイタル

13日(日) 19:00 三戸素子ヴァイオリンリサイタル

14日(月・祝) 17:30 里井宏次&ザ・タロー・シンガーズ 第15回東京定期演奏会

14日(月・祝) 18:30 日本合唱協会創立50周年記念 第188回定期演奏会

15日(火) 18:30 山崎滋(指揮) 半田淳子(琵琶) 大屋浩太郎(Pf) 日本合唱協会

16日(水) 19:00 東京ハルモニア室内オーケストラ 第47回定期演奏会

17日(木) 19:00 木星音楽団 第4回グローバル・コンサート

18日(金) 19:00 Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ第1回

19日(土) 14:00 Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ第2回

20日(日) 14:00 Music Weeks in TOKYO 2013 まちなかコンサート

23日(水) 19:00 天平 ピアノコンサート

24日(木) 18:45 日本モーツァルト協会第552回例会「18世紀のピアノリズム」

25日(金) 19:00 花房晴美 室内楽シリーズ バリ音楽のアトリエ「第7集 ミヨの夜会」

26日(土) 18:00 ムスカシはおもしろい!!古典四重奏団のモーツァルト2013の2(レクチャー付き)

27日(日) 11:00 大羽洋子ピアノリサイタル

27日(日) 14:00 親子で聴こう、名曲コンサート

28日(月) 19:00 窪田健志 打楽器リサイタルvol.2

29日(火) 19:00 音楽の喜び/ヒンデミット没後50周年記念演奏会

30日(水) 19:00 柳川守ピアノリサイタル2013

31日(木) 19:00 インジフ・バズデラ&志村泉 デュオリサイタル

特集 出演者インタビュー

東京文化会館主催公演のご案内

木之下晃のレンズは語る

公演情報 10月12日

音楽資料室より

都響ニュース

会館からのお知らせ

1日(金) 11:30 ジャパン・シネマ・オーケストラ前日祭 ランチタイム・シネマ・コンサート&トーク

2日(土) 14:00 3日(日・祝) 14:00 ジャパン・シネマ・オーケストラ

4日(月・休) 15:00 都民劇場音楽サークル第612回定期公演 パリ管弦楽団

14日(木) 19:00 15日(金) 19:00 16日(土) 15:00 17日(日) 15:00 シルヴィ・ギエム・オン・ステージ2013

18日(月) 19:00 ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

19日(火) 19:00 東京都交響楽団 第760回定期演奏会

20日(水) 19:00 都民劇場音楽サークル第613回定期公演 パーミンガム市交響楽団

29日(金) 18:30 トリノ王立歌劇場「トスカ」

東京文化会館チケットサービスのご案内

1日(金) 11:00 東京文化会館モーニングコンサートvol.75 主催公演

19:00 浮ヶ谷順子フルートリサイタル

2日(土) 15:00 Music Weeks in TOKYO 2013 小曾根真ワークショップ「自分で見つける音楽」

3日(日・祝) 10:30 Music Weeks in TOKYO 2013 ミュージック・エデュケーション・プログラム

4日(月・休) 14:00 東京音楽コンクール入賞者リサイタル 井上静香ヴァイオリンリサイタル

7日(木) 19:00 Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ第3回 堤剛&ルドルフ・ブッフビンダー 主催公演

8日(金) 19:00 安永徹・市野あゆみ デュオ・コンサート

9日(土) 18:00 イェルク・デーモス ピアノリサイタル 楽壇デビュー70周年記念

10日(日) 14:00 Music Weeks in TOKYO 2013 プラチナ・シリーズ第4回 堤剛&ルドルフ・ブッフビンダー 主催公演

11日(月) 19:00 佐藤久成ヴァイオリンリサイタル

12日(火) 19:00 今川映美子 シューベルトヴァイオリン・アデーテvol.11

13日(水) 19:00 古部賢一 オーボエ・リサイタル

14日(木) 19:00 岡田博美ピアノリサイタル2013

15日(金) 19:00 ミュージック・イン・スタイル 岩崎淑シリーズvol.37

16日(土) 14:00 カルテット・エクセルシオ第26回定期演奏会

19:00 アカサスIIコンサート

17日(日) 15:00 日本テレマン協会創立50周年記念 第215回定期演奏会

18日(月) 19:00 第29回齋藤行クラリネットリサイタル

19日(火) 19:00 平尾貴四男 歿後60周年記念コンサート

20日(水) 19:00 宮沢明子ピアノリサイタル

21日(木) 19:00 中西哲人チェロリサイタル

24日(日) 14:00 東京文化会館オペラBOX「カルメン」 主催公演

25日(月) 18:45 日本モーツァルト協会第553回例会「ふたりのモーツァルト」

26日(火) 16:40 平成25年度文部科学大臣賞 友愛創立60周年記念 第24回 友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール

27日(水) 19:00 中村静香ヴァイオリン&ヴィオラ リサイタル

28日(木) 13:00 アルカン生誕200年記念ピアノコンサート

29日(金) 19:00 エリック・ハイドシェック ピアノリサイタル2013

30日(土) 14:00 小林武史ヴァイオリンリサイタル

●掲載情報は2013年8月10日現在のものです。 ●主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。詳しくは各主催者にお問合せください。

特集 出演者インタビュー 東京文化会館主催公演のご案内 木之下晃のレンズは語る 公演情報(10/12月) 音楽資料室より 都響ニュース 会館からのお知らせ

1日(日) 15:00・4日(水) 18:30・7日(土) 15:00 トリノ王立歌劇場「仮面舞踏会」



2日(月) 15:00・5日(木) 18:30・8日(日) 15:00 トリノ王立歌劇場「トスカ」

6日(金) 19:00 都民劇場音楽サークル第614回定期公演 トリノ王立歌劇場 特別演奏会



ジャンナドレ・ノセダ ©中島正之

9日(月) 19:00 関孝弘ピアノリサイタル 2013

10日(火) 19:00 田尻明規とモーツァルト・レクイエムを歌う会のコンサート



田尻明規

14日(土) 15:00 東京バレエ団「ザ・カプキ」



©Kiyonori Hasegawa

18日(水) 19:00 スヴァンホルム シンガーズ

19日(木) 19:00 東京都交響楽団 第762回定期演奏会

20日(金) 18:30 第63回 メサイア演奏会

21日(土) 14:00 <第120回>2013 第九演奏会

22日(日) 15:00 亀淵友香&VOJA ~Christmas Gospel Night 2013~

23日(月・祝) 14:00 都民交響楽団 2013年特別演奏会



松尾葉子

24日(火) 19:00 都響スペシャル「第九」



エリアフ・インバル ©堀田力丸

26日(木) 18:30 27日(金) 18:30 キエフ・バレエ「パヤデルカ」(日本初演)



28日(土) 19:30 東京シティ・フィル 第九特別演奏会

31日(火) 13:00 ※23:45 終演予定 ベートーヴェンは凄い!「全交響曲連続演奏会」2013

1日(日) 14:00 近藤洋子ピアノリサイタル

2日(月) 18:30 日本合唱協会 第189回定期演奏会「二つのレクイエム」

3日(火) 19:00 尾高博忠作品展〜ピアノの響きと共に〜

4日(水) 11:00 東京文化会館 モーニングコンサートvol.76 主催公演

5日(木) 19:00 福間光太郎ピアノリサイタル 2013

6日(金) 19:00 家喜美子チェンバロリサイタル

7日(土) 12:00 15:00 普天間かおりLIVE 2013

8日(日) 14:00 山崎小桃 ソプラノリサイタル

9日(月) 19:00 都響メンバーによる室内楽コンサートvol.17「調理場のレビュー」

10日(火) 19:00 ヴァイオリン、チェロ、メゾソプラノリサイタル

11日(水) 18:30 アトリウム弦楽四重奏団 チェイコフスキー弦楽四重奏曲 全曲演奏会

12日(木) 19:00 アンサンブル・ロココ 第27回クリスマスバロックコンサート

13日(金) 19:00 チェコ少年合唱団「ボニ・ブレリ」クリスマスコンサート2013

14日(土) 19:00 東京シンフォニエッタ第34回定期演奏会「固定・展開」

13日(金) 19:00 東京混声合唱団 第232回定期演奏会

14日(土) 14:00 岩田真奈メゾソプラノリサイタル

15日(日) 14:00 室井摩耶子トークコンサート〜音楽を聴きたいって何なの?第25話

18日(水) 19:00 大萩康司ギターリサイタル

19日(木) 18:45 日本モーツァルト協会第554回例会「親愛なる友ハイドンへ」

20日(金) 19:00 新納洋介ピアノリサイタル

21日(土) 14:00 和波孝禧 クリスマスバッハシリーズXXI

22日(日) 14:00 ガンマプラスアンサンブル 第26回定期演奏会

23日(月・祝) 14:00 小林道夫グランドベルク変奏曲演奏会

24日(火) 19:00 石井啓子アンサンブルシリーズXXV

25日(水) 19:00 外園祥一郎&次田心平リサイタル

26日(木) 18:30 藝大ピアノ・デュオ・プロジェクト vol.2

27日(金) 19:00 岸七美子ソプラノリサイタル

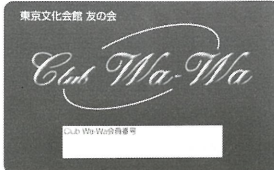
31日(火) 14:00 ベートーヴェン弦楽四重奏曲「9番」演奏会

特集 出演者インタビュー 東京文化会館主催公演のご案内 木之下晃のレンズは語る 公演情報 10・12月 音楽資料室より 都響ニュース 会館からのお知らせ

会館からのお知らせ

東京文化会館 友の会
Club Wa-Wa
のご案内

“音楽の殿堂”東京文化会館を応援して下さる舞台芸術ファンのためのクラブ、Club Wa-Wa(わあーわ)。
Wa-Waとは、ご支援くださる皆様の“輪”と“和”を意味します。
東京文化会館は、昭和36(1961)年の開館以来、日本における舞台芸術の中心地として半世紀にわたる歴史を刻んできました。伝統をふまえ、未来へ向けて歩む会館を、Club Wa-Waの皆様へ支えていただき、さらなる“輪”を広げていただきたいと願っております。多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております。



会員プラン

①ベーシックプラン 年会費 ¥2,100

メルマガ、ホームページを活用してよりスピーディーに情報をお届けするプラン。

②クラシックプラン 年会費 ¥2,625

毎月1回、会報誌 Letter Wa-Waをご郵送するプランです。

申込プラン	入会金	年会費	メールマガジン	会報誌の郵送	チケットオンライン購入
友の会 ベーシックプラン	無料	2,100円	●	●	●
友の会 クラシックプラン	無料	2,625円	*	●	●
メールマガジン		無料	●		

*別途メールマガジンにご登録いただけます。

■ご入会について

チケットサービスあるいはホームページにてお手続きいただくか、友の会事務局まで入会申込書をご請求ください。

■お問合せ・チケットお申込み

お問合せ 東京文化会館友の会 Club Wa-Wa 事務局
電話：03-3828-1696(平日9:00～17:00、土日祝休み)
お申込み 東京文化会館チケットサービス
電話：03-5685-0650(休館日を除く10:00～19:00)

特典 (ベーシックプラン、クラシックプラン共通)

- ①当館指定公演の**チケット割引販売**
 - ②当館指定公演の**チケット先行販売**
 - ③当館指定公演に抽選で**会員の方をご招待**
 - ④館内の**レストラン・ギフトショップで5%割引(一部対象外)**
 - ⑤会館広報誌「**音脈・公演情報**」を年4回、**ご自宅へ郵送**
 - ⑥**ヤマハ銀座店で5%割引(一部対象外)**
 - ⑦(公財)東京都歴史文化財団の運営する施設の**入館料等の割引(割引率は施設により異なります)**
 - ⑧**アトレ上野の対象店舗での各種サービス**
詳しくはリーフレット「アトレ上野 de お得がいっぱい!」もしくはアトレホームページ<http://www.atre.co.jp/>をご覧ください。
 - ⑨**エキュート上野の対象店舗での各種サービス**
詳しくはリーフレット「エキュート上野 チケ得」もしくはエキュート上野ホームページ<http://www.ecute.jp/ueno/>をご覧ください。
- 最新の友の会特典情報(先行発売・割引情報・公演ご招待等)は、東京文化会館ホームページからご覧いただけます。



東京文化会館公式ツイッター始めました。▶ http://twitter.com/tbunka_official/

ぜひご覧ください!

カフェ

café HIBIKI

秋の風を感じながら
気軽に楽しめる
オープンカフェゾーンです



写真左より

肉パンダまん・あんパンダまん 各¥250
パンダのパンケーキ ¥280

*価格には消費税が含まれております

営業時間/11:00～19:00(ラストオーダー18:30)

営業時間等変更の可能性がございますので、
下記へお問合せください。

TEL 03-3821-9151

(レストランフォレストイーユ 精養軒)

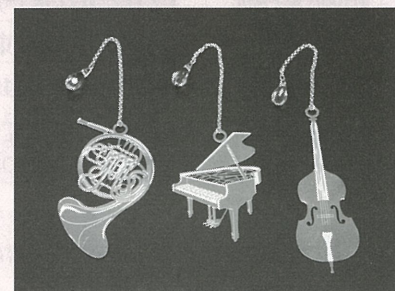
東京文化会館1階：入口は国立西洋美術館側

ギフトショップ&チケットサービス

東京文化会館ギフトショップ

TEL 03-3828-2223 FAX 03-3828-2224

音楽やバレエをテーマにしたグッズを幅広く取り揃えて
皆様のご利用をお待ちしております。
ギフトラッピングもお気軽にお申し付けくださいませ。



ブックマーカー 各651円(税込)

東京文化会館チケットサービス

TEL 03-5685-0650

東京文化会館1階正面口入って左

フラワーショップ

CADEAUX

フラワーショップ
カード

花束・アレンジメント・スタンド花・楽屋花の
ご注文を承ります。



贈り物(CADEAUX)の玉手箱
エントランスロビーの一角で
色とりどりの季節の花がお出迎え。

TEL&FAX 03-3828-8741

東京文化会館1階正面口入って右

Restaurant Forestier

レストラン フォレストイーユ 精養軒



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間



左野精養軒

TEL 03-3821-9151

(東京文化会館 2階)

<http://www.seiyoken.co.jp>